

器具を取り付ける前に

●天井にこのような配線部品がついている場合は、ご家庭でも手軽に器具が取り付けられます。



角形引掛シーリングボディ



丸形引掛シーリングボディ



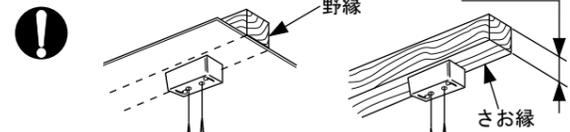
埋込形引掛シーリングローゼット

！あらたに、配線部品を取り付ける場合は、電気工事店（有資格者）に取り付け工事を依頼してください。（しろうと工事は危険です。また、法律で禁じられています。）

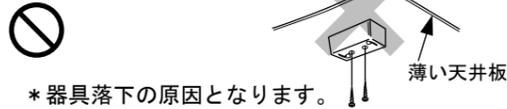
電気工事店（有資格者）のかたへ

角形引掛シーリングボディ取り付け上のご注意

●電線を接続し、なべ皿木ねじ2本で野縁またはさお縁など補強材のある所に取り付けてください。



●引掛シーリングボディは薄い天井板に取り付けないでください。

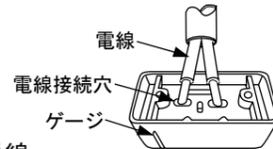


*器具落下の原因となります。

角形引掛シーリングボディへの電線接続方法

接続のしかた

- 電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。
- 適用電線…φ1.6、φ2.0単線



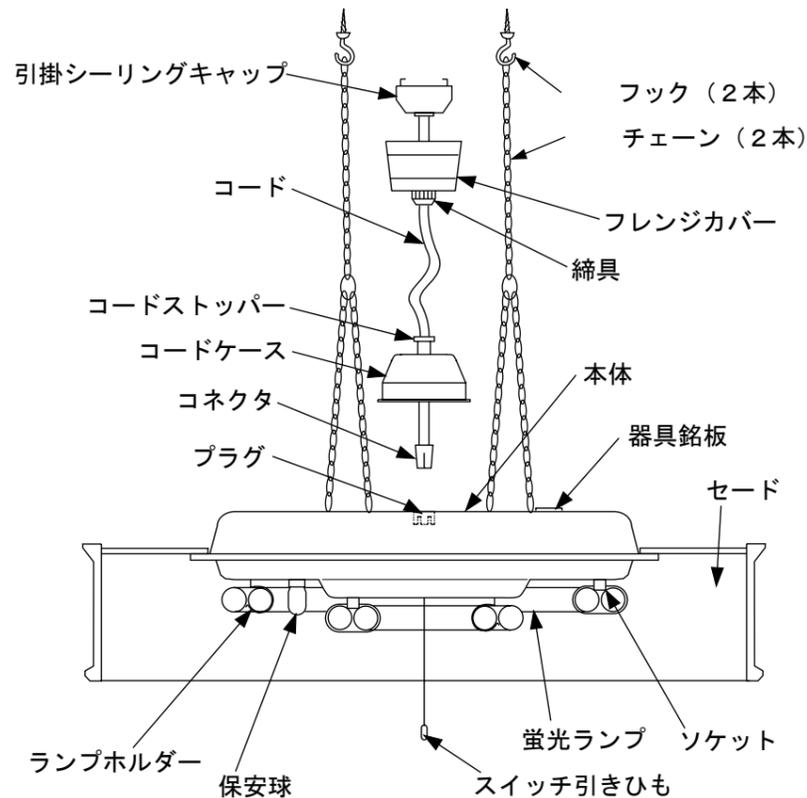
解除のしかた

- ドライバーを電線はずし穴に強く差し込んで、電線をひっぱってください。



各部の名称

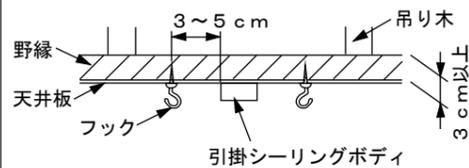
取り扱いを説明するため、一部省略抽象化した共通図を使用しています。



！フックの取り付けかた

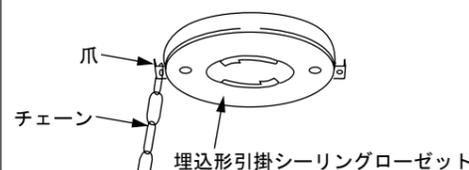
(角形引掛シーリングボディ)
(丸形引掛シーリングボディ)
が天井に付いている場合

- 取り付け用フックは、必ず野縁やさお縁など補強材のある所に取り付けてください。フックの取付ピッチは下図を参照ください。



(埋込形引掛シーリングローゼット)
が天井に付いている場合

- 取り付け用フックは使用しません。埋込形引掛シーリングローゼットの爪にチェーンを引っ掛けてください。



器具の取り付けかた

1.コードケースの取り付け



！本体のプラグにコネクタをしっかりと差し込んでください。
*接続が不完全な場合、火災の原因となります。

コードケースの切り欠きを本体の引掛け部に合わせてください。

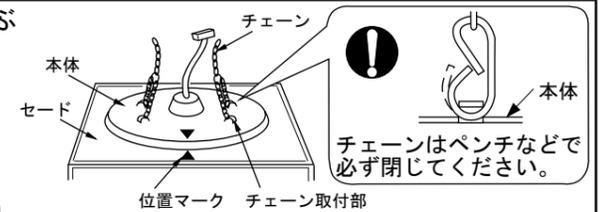
コードケースがロック爪を乗り越えるまで、矢印方向に一杯に回してください。（コードケースのVマークと本体側の合マークが合うようにしてください。）

コードケースを取りはずす場合は、ロック爪を押しながらかつ矢印方向に回してください。

2.器具の取り付け

①チェーンを本体のチェーン取付部に引っ掛け、ペンチなどでつがしてはずれないように閉じてください。

！チェーンは必ず右図の取付部に取り付けてください。



！チェーンはペンチなどで必ず閉じてください。

②ランプホルダーに蛍光ランプを引っ掛け、ランプソケットに口金を差し込んでください。

！確実に差し込まれているか確認してください。
*接続が不完全なまま使用した場合、火災の原因となります。

③あらかじめコードをいっぱい引き出してください。「3.コード長さの調節」をご参照ください。

④本体の位置マークにセードの位置マークを合わせるように、セードを取り付けてください。

⑤器具を持ち上げ、フックまたは埋込形引掛シーリングローゼットの爪にチェーンを引っ掛けてください。フックの取り付けは、「各部の名称」をご参照ください。

⑥引掛シーリングキャップを天井の配線部品に差し込み、右へいっぱいひねってください。

！確実に取り付けられているか確認してください。
*接続が不完全なまま使用した場合、火災の原因となります。

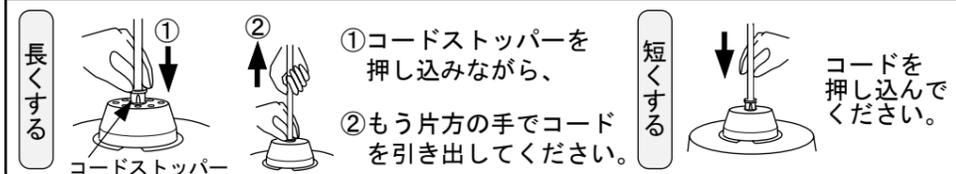
⑦フレンジカバーを天井面に押し上げて締具で固定してください。

■器具取り付け後にコードのたるみが気になるようでしたら、コードをコードケースに押し込んでください。「3.コード長さの調節」をご参照ください。

！器具使用時にコードに直接荷重がかからないよう、コードは少したるませてください。

■セードを外す場合は、上記の逆の順序で行ってください。
■器具を置く場合は、平らな場所に静かに置いてください。

3.コード長さの調節



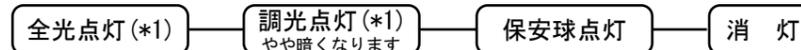
引掛シーリングキャップのはずしかた

引掛シーリングキャップに付いている押しボタンを押しながらかつ矢印方向へ回してください。



4.点灯確認・・・スイッチ引きひもを引いて点灯順序を確認してください。（4段切り換えスイッチ付きです。）

- ランプの口金がランプソケットにしっかりと差し込まれているか確認してください。
- 保安球がゆるんでいないか確認してください。



*1 所定の明るさになるまで数秒かかることがあります。